

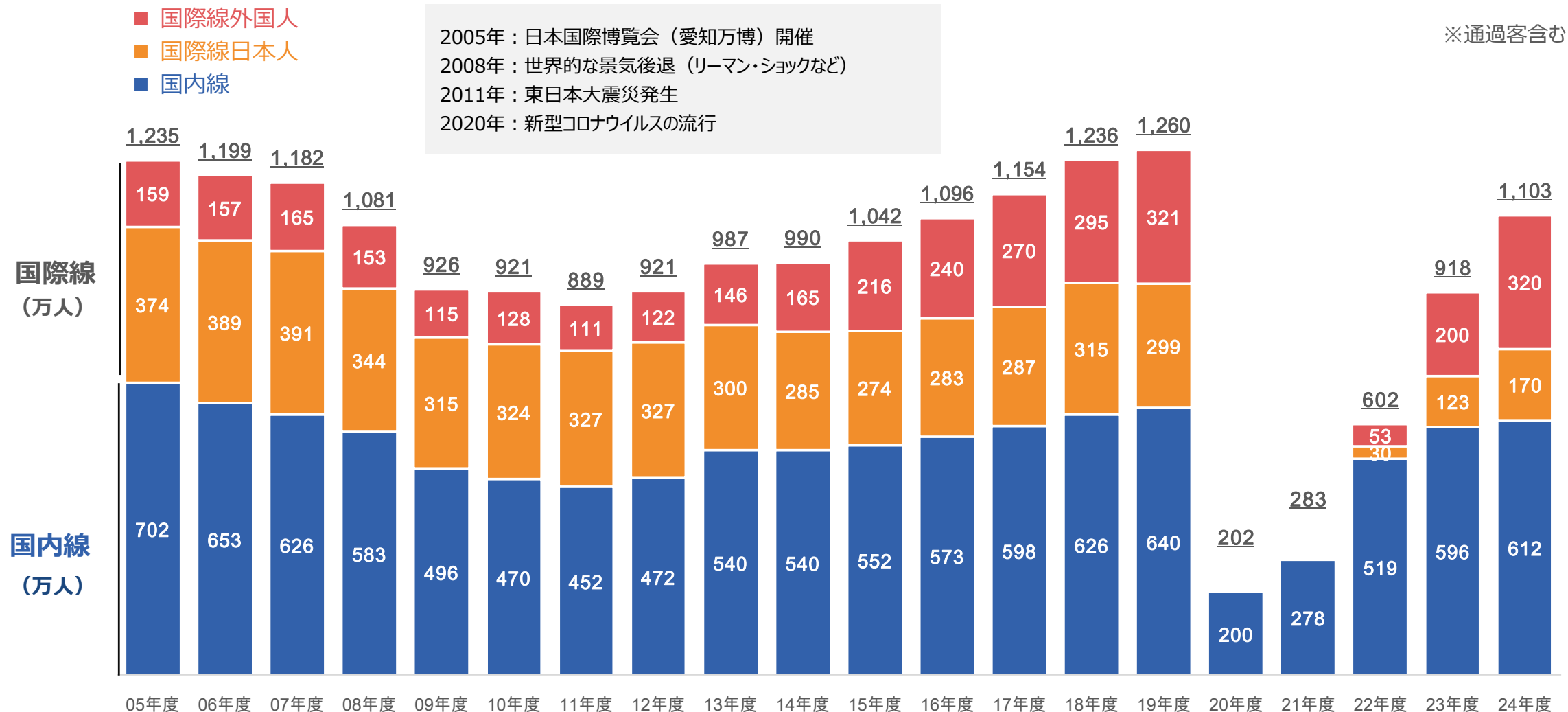
中部国際空港の現状と今後の注力市場

2025年 8月

中部国際空港(株) 航空営業部 部長 金室紀子

■ 年度別旅客数推移（内際合計）

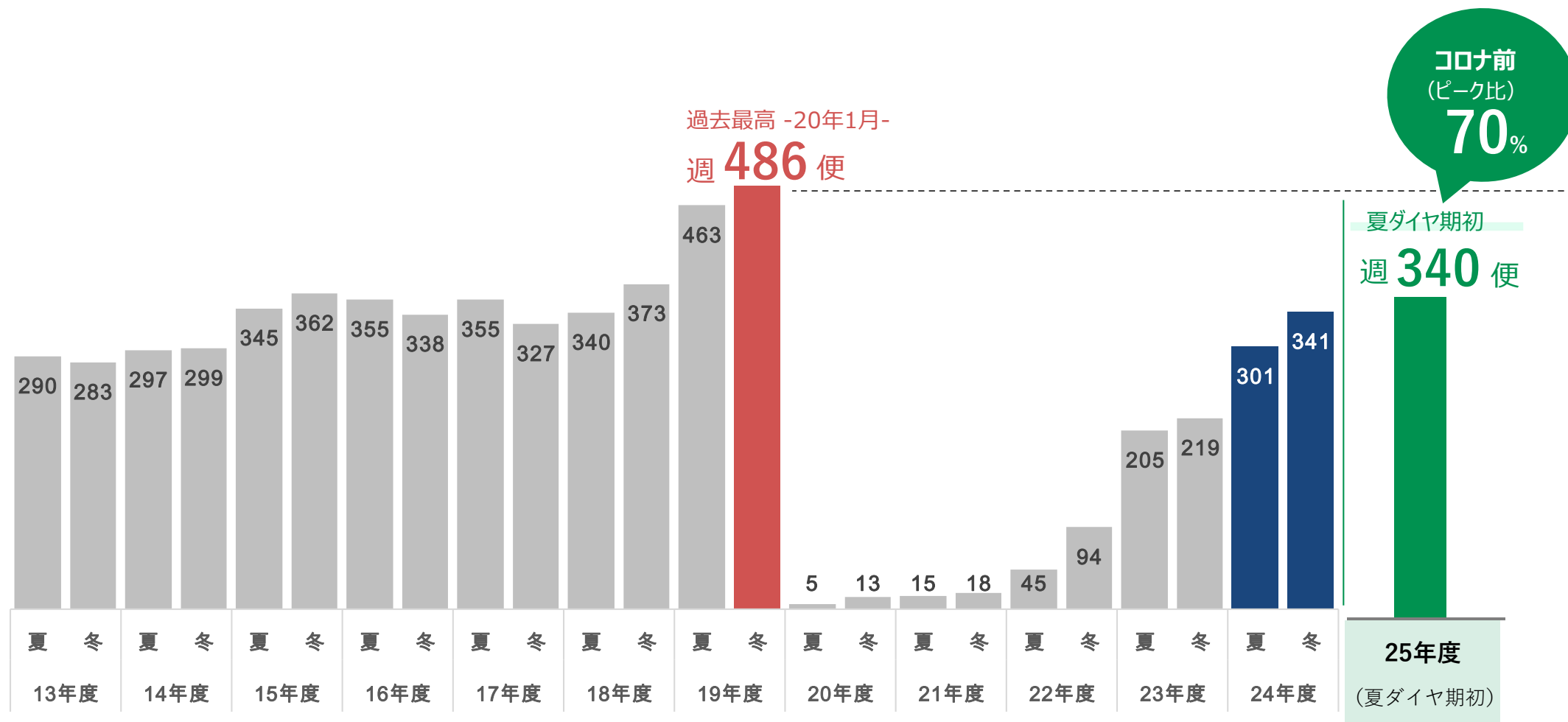
・2024年度は1,103万人、19年度比 88%の水準に



出所：社内データを基に作成

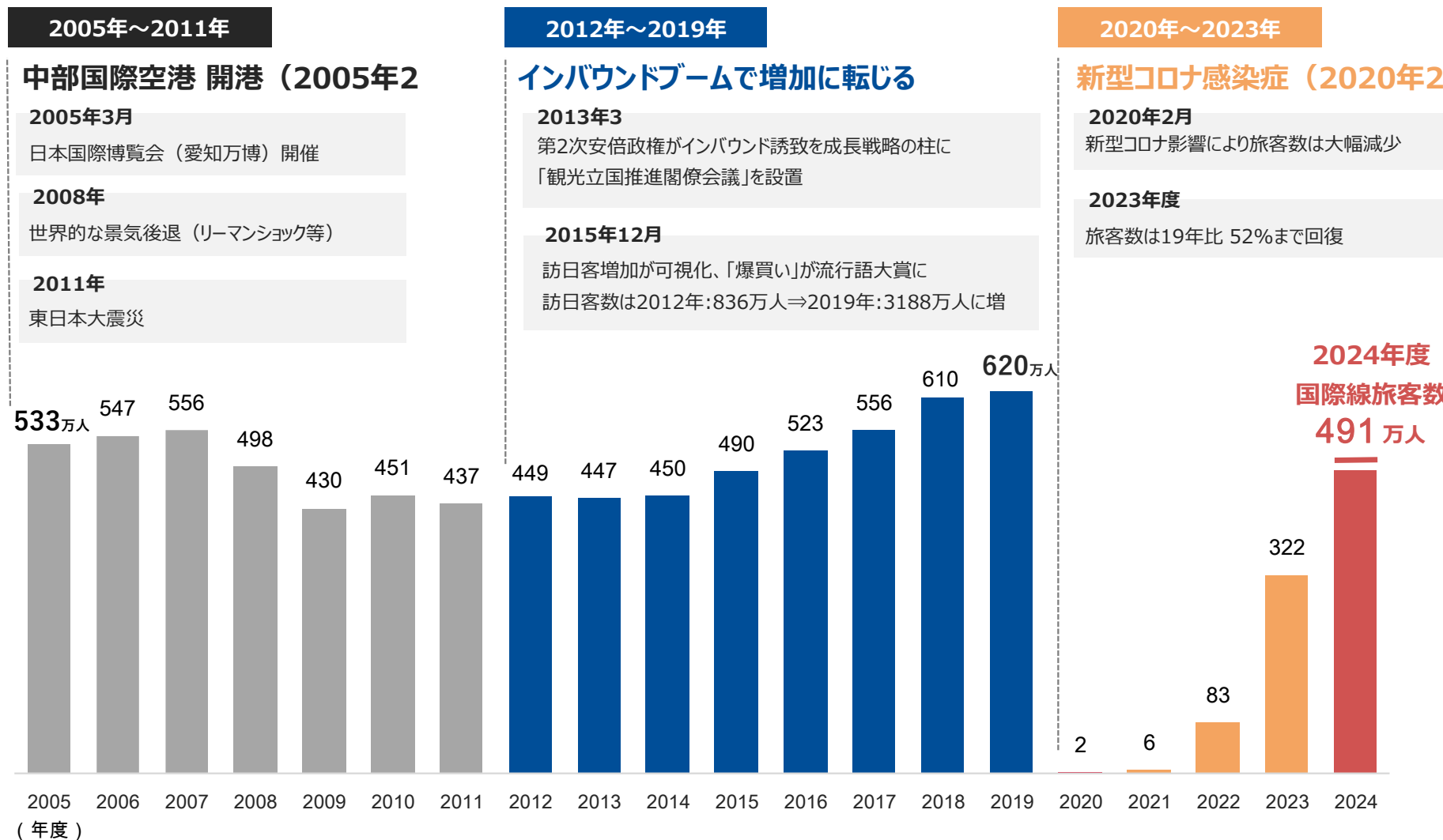
・2025年夏ダイヤ期初は週339便、コロナ前ピーク比70%の水準

2020年1月に開港以降最多の週486便を記録、その後、コロナで大きく落ち込むも、24年冬ダイヤは7割程度の便数まで持ち直す



出所：社内データを基に作成

・24年度は491万人、19年度比 79%の水準に



出所：社内データを基に作成

・2025年7月時点で週321便となり、コロナ前ピーク比67%の水準

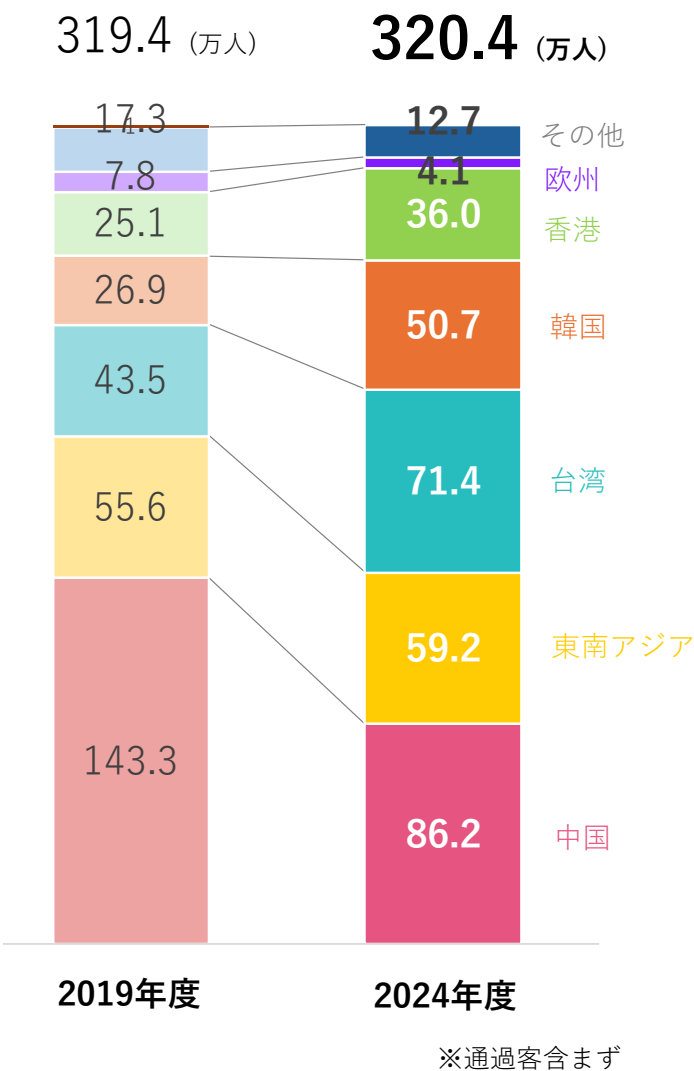
羽田、福岡、那覇はコロナ前を超過する一方で、中部は67%の戻り

	20年1月	25年7月	20年比
羽田	817	1,116	137%
福岡	380	498	131%
那覇	201	240	119%
関空	1,432	1,498	105%
成田	1,820	1,665	92%
新千歳	245	224	91%
中部	482	321	67%
計	5,378	5,558 便/週	106%

出所：中部は社内データ、他空港はOAGデータを基に作成

	20年1月	25年7月	20年比
中国	211	99	47%
韓国	59	77	131%
台湾	49	41	84%
香港	38	36	95%
タイ	33	11	33%
フィリピン	23	14	61%
ベトナム	14	23	164%
ハワイ	12	4	33%
グアム	14	5	36%
シンガポール	7	7	100%
フィンランド	5	4	80%
UAE(北京経由)	7	-	-
米国	4	-	-
ドイツ	4	-	-
インドネシア	2	-	-
マレーシア	-	-	-
計	482	321便/週	67%

- ・ 出入国外国人は、24年度累計で320.4万人となり、19年度を超える過去最高の水準
- ・ コロナ前比で、中国は60%（△57万人）、欧州は53%（△4.6万人）と回復に至らず



国籍	増減数	19年度比
韓国	+238,236	189%
台湾	+279,718	164%
香港	+108,381	143%
東南アジア	+36,889	107%
中国	△570,763	60%
欧州	△36,332	53%
その他	△46,440	73%
	+2,301	100.3%

出所：政府統計の総合窓口（e-Stat）のデータを基に集計し作成

【国際線】ネットワーク（2025年8月時点）

中国（9社、11都市89往復）

上海 ※ 7往復が蘭州まで延伸	中国国際航空	7往復
	中国東方航空	21往復※
	春秋航空	7往復
	上海吉祥航空	14往復
	上海航空	7往復
広州	中国南方航空	4往復
西安	中国東方航空	4往復
南京	上海吉祥航空	－往復
北京	中国国際航空	7往復
青島	青島航空	4往復
天津	日本航空	2往復
煙台	中国東方航空	3往復
深圳	深圳航空	－往復
大連	中国南方航空	4往復
杭州	厦門航空	2往復
福州	厦門航空	3往復

欧州（1社乗り入れ、1都市4往復）

ヘルシンキ	フィンエアー	4往復
-------	--------	-----

ビーチ・リゾート（2社乗り入れ、2都市12往復）

グアム	ユナイテッド航空	5往復
ホノルル	日本航空	7往復

就航都市 便数
 26 都市  322 往復/週

<月内の主な動き>

8/2～ 深圳航空 運城線 4往復 新規就航
 8/3～ タイ・エアアジアX バンコク（ドンムアン）線 4往復 運航再開
 8/26～ ピーチ ソウル（金浦）線 7→14往復 増便

出所）社内データを基に作成

韓国（6社、3都市84往復）

ソウル（仁川）	大韓航空	14往復
	アジアナ航空	14往復
	チェジュ航空	14往復
	ジンエアー	14往復
ソウル（金浦）	Peach	7往復
清州	エアロK	7往復
釜山	大韓航空	7往復
	ジンエアー	7往復

（参考：各ダイヤ期中におけるピーク時）

19年夏：38都市463便 / 冬：42都市486便
 23年夏：17都市205便 / 冬：18都市256便
 24年夏：25都市321便 / 冬：27都市341便

台湾・香港（7社、4都市79往復）

台北	日本航空	5往復
	チャイナエアライン	14往復
	タイガーエア台湾	5往復
	Peach	7往復
高雄	スターラックス航空	7往復
	タイガーエア台湾	3往復
台中（定期チャーター便）	タイガーエア台湾	3往復
香港 ※ 7往復が台北経由	キャセイパシフィック航空	21往復※
	香港エクスプレス	14往復

東南アジア（7社、5都市54往復）

マニラ	フィリピン航空	7往復
	セブパシフィック航空	7往復
ハノイ	ベトナム航空	7往復
	ベトジェットエア	7往復
ホーチミン	ベトナム航空	5往復
	ベトジェットエア	4往復
バンコク ※ 台北経由	タイ国際航空	7往復
	タイ・ライオン・エア	3往復※
シンガポール	シンガポール航空	7往復

2025年度 セントレアの注力市場

	注力市場	理由・目的
1	欧州	・ フィンエアーが25年夏ダイヤ（3月末から10月末） 運航も、冬ダイヤ運休 ・ <u>通年運航化には、インバンド増強が必要</u>
2	タイ	・ 時期により一時運休が入るなど、やや不安定な状況 ・ <u>路線安定化には、インバンド増強が必要</u>
3	ベトナム	・ 今後供給拡大が予定されており、<u>路線安定化に向けインバウンド増強が必要</u>
4	中国	・ コロナ禍後の路線回復はまだ5割程度、また回復済み路線も減便傾向 ・ <u>路線維持、路線回復に向けては、インバウンド増強が必要</u>
5	韓国	・ 日本他地域と比べ、再近隣国である韓国から訪問いただけていない状況 ・ <u>更なる韓国線増強に向けては、インバウンド増強が必要</u>

特に上記5市場は強化していきたい